

教育方針と園の特色

砂川幼稚園は、昭和33年に設立認可され 学校法人 正憲学園として昭和59年に認可された幼稚園です。

仏さまの教えをよりどころとして「ともに生き、ともに育つ保育」の実践を掲げると共に、大切な幼児期によるこびを共有できる仲間づくりを目指します。

思いやりのあるところ、人の親切な心にふれてよろこびを感じるころ、失敗しても素直に表現できるころ、がまんするころなど、これからの一生に、感謝し、力強く生きて行くための、尊い「ころ」を、ほとけさまに手を合わせるこ、ほとけさまの教えを聞くこ、ともだちと共に遊ぶこなどの体験をもとに、日々積み重ねて行く経験のなかで養うこを大切にしています。

あせらない保育

幼児は、この時期でなければ育てることの出来ない大切な社会性や情緒を

「遊び」の中で、はぐくみます。

同じ年齢の仲間たちとの「遊び」がよりよく発展していく様子を、じっくり見守り《あせらない》保育を目指しています。

子どもは遊びによって育つのですが、何が育っているかは、すぐには見えてこないものです。大人はあせらず待つ事が大切です。

体力づくりの保育

週一回の体育指導を専門の先生を迎えて行っております。

各年齢に合った体力づくりを中心に、幼児一人一人が自主的に行動し、運動が出来るようになると共に表現力が芽生えてまいります。

その体力づくりの手伝いが出来ればと思っています。